	提出された意見の要約	市の考え方
1	資源回収集積場所への搬入が困難であるため、庭先回収を希望	基本目標の3つめ「地域の支え合いとサービスが連携したまち」に該当するご意見と考えます。近年、地域自治区での活動が活発になってきていること、地域包括ケアシステムにおけるインフォーマルサービスの充実など、身近な困りごとを地区で解決するネットワークの向上、地域力の支援に取り組んでいきます。
2	通院・買い物のため、タクシー助成・バスの充実など、移動支援を希望	3章の市民意識調査にも、生活支援(普段の生活で助けてほしいこと)として、病院への送迎や買い物などがあがっています。地域の実情にあった利用しやすい移動手段の体制づくりを検討していきます。
3	P18 地域の医療資源に対する不安	住まいに関する意識調査におきましても、人生の最後を迎える場所として希望するところは、「自宅」が51.5%と最も高くなっています。それには介護サービスだけでなく医療との連携が重要で、専門職、地域力、それぞれの役割が十分に発揮されるよう関係機関の連携に努めます。
4	P34 高齢者が増加しているのに老人クラブが減少している理由は	地域でのボランティア活動や趣味の活動など、高齢者の社会参加の選択肢が広がっているためと考えます。元気な高齢者の多様なニーズに対応し、魅力ある活動ができる場所となるよう支援をしていきます。
5	P 5 2 配食サービス (お弁当の質) の向上を希望	地域格差の是正にあわせて、質の向上についても委託事業者と ともに検討していきます。
6	高齢者向け施設の整備を希望	P67施設サービスの整備方針につきましては、東三河広域連合介護保険事業計画にて広域的な利用者を想定して掲載しております。市としましては、地域の情勢を把握し情報の提供等に努めます。
7	P91 保険料推移表に東三河広域連合平均・愛知県平均を掲載してほ しい。	東三河広域連合については平成30年度からのため、表には愛知県平均のみ追加しました。
8	東三河広域連合介護保険事業計画より抜粋部分についてのご質 問	東三河広域連合にて策定する為、市の考えを示すのは適当では ないと考えますが、新城市高齢者福祉計画とは一体性をもって 取り組むことから、最大限の事業効果が得られるよう引き続き 緊密に連携し介護サービスの質の向上に努めます。